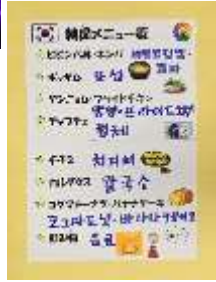


# バイキング昼食会 韓国料理 MENU



# 里だより

No.391

令和6年8月1日

—発行—

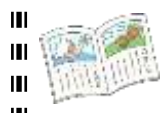
菊池郡大津町平川400番地

社会福祉法人 清和会

つくしの里

TEL 096-293-1550

FAX 096-293-1579



八月号もくじ



施設長より	1
相談より	2
主任より	3
職員より・事務局より	4
サービス向上委員会より	5
行事報告	6
研修報告	6
行事予定	8
ありがとうございました	8
御礼・編集後記	9

(ページ)



## 施設長より

### 新札とキャッシュレス



七月三日に新紙幣が発行されました。熊本にゆかりある人物として北里柴三郎が千円札に描かれています。まだまだ、私も現物にお目にかかれていませんが、興味があるなは個人差のようです。日常の支払いをスマホなどの電子決済でキャッシュレス化している人にとっては関心ごとには無いようです。

利用者さんに話を聞いてみると、金銭へのご理解に差はありますが、早く新札を見たいと言われる方と、どちらも使えるの不安になられる方など様々でした。キャッシュレス化が進んでも、現金は無くならないだろうと言われていきます。当事業所を利用される方も、通常の買い物や外出先での支払いは現金が主流です。以前と比べると、ネットでの購入も増えていますが、買い物の楽しみは、外出して実際に手に取って選ぶといったところでしょうか。現金の良いところは、金種ごとに分かれていて、使うたびに残額が目で見えてわかるところです。お金の起源である「物々交換」「物品交換」の頃から手に触れられる分かりやすさがあると思います。キャッシュレス化されると、確認できるのは数字だけになります。数字のご理解が難しいとなれば、グラフ化して金額の増減をお伝えすることになるのかもしれないですね。スタッフや任されている人が管理すればいいのではないかという意見もあるかもしれません。金銭管理・権利擁護・意思決定支援の流れから考えると、利用者さんへの説明をはじめ、当事者となる利用者さん抜きに進めるわけにはいきません。また、お伝えする責任がある

と思っています。

時代の流れは、便利なものを生み出します。しかし、使う人によって是不便や不利益になることもあります。

クレジットカード・プリペイドカード・電子マネーのみならず、スマホやパソコンから、ボタン一つでポチッと購入して届いた請求書を見て、こんなに買い物をしていたのかと驚いた経験がある方も多いかと思います。利用者さんの身に起こる事案として、同様のケースがあります。ご家族の知らない物品や請求書が家に届き驚いた。家族の知らないところで、知人に騙されて購入したようだが、物品は手元になかった事案もあります。このようなことが度々起こると、ご家族の金銭的・精神的負担も大きくなります。

便利になった分、出来なくなったり、見えない落とし穴があること、取り残されている人もいることを確認しながら、新しいものを受け入れていきたいと思っています。

便利になるだろうといわれるものに、マイナンバーカードがあります。施設での取り扱いについては、今一つ明確になっていないところもありますので、国からの通知を待ちたいと思います。詳しいことが分かり次第、改めてお伝えします。尚、入所利用されている方の通知カードはご家族にお返ししていますので、一度、ご確認をお願いします。

施設長 松永一博

## 相談より

「マイナスな経験も力に変えて…」



私事ですが、二か月ほど前に小学五年生の次男が自転車で自動車にぶつかる事故を起こしてしまいました。自宅周辺の住宅街の中、次男が自転車で大きく左折しようとして中央まで出たことで、交差点に差し掛かり徐行していた車に一方的にぶつかった状況です。どう考えても次男の不注意が原因ですが、自動車対自転車でお互いに動いている状態ですので、自動車側が悪いことになりました。しかし、親の立場からすれば、次男も自転車も無傷で済んだのは、交差点でしっかりと減速して、徐行して下さった相手の運転手の方のおかげです。これがもし乱暴な運転をする方であったら…と考えると、何とお礼を言っても言い尽くせないくらいの感謝の気持ちでいっぱいです。すぐに相手の方のご自宅を訪問し、謝罪をしましたが、かえって謝罪をして頂く状態であり、自動車につけた傷も相手の方が対応されることになりました。自転車自粛を促して、早二か月。もう解禁しても良いと思っっています。が、初めて自分で事故を起こしてしまい、警察が駆け付けける事態になり、少しトラウマになっているのかなとも感じます。今回の件で私自身も自転車が飛び出してくるのではないかと住宅街の運転が怖くなっています。こういった経験もプラスに転じて成長していったってほしいと思います。

そして、今月は中学二年生の長男に金銭トラブルが発覚しました。事の発端は二十二時過ぎの友達からの「明日お金よろしくね」というメッセージ。スマートフォンを盗み見るつもりはありません

んでしたが、自分の電話と間違って手にしたところ、前後の文脈は分かりませんが、冒頭の文章が目に入りました。本人は既に寝ていた為、妻と二人で何があつたのかと気が気ではない状態になりました。翌朝、本人は案の定、一人早い時間帯に起床し、お金を探すような行動がありました。本人に確認しても何かを隠して、曖昧な返答。夕方学校へ確認に行き、数日後には逆に学校からの呼び出しもあり、真相が少しずつはつきりしてきました。文章だけ見ると「恐喝されているのか」と不安になる感じでしたが、どうやら自分がしてもらったことの見返りをお金で解決しようとしていたようです。要求した側、払おうとした側、周りでそのやり取りを画策していた側など、五人以上が絡んでおり、まだ完全な解決には至っていません。ただ、はっきりと言えることは、うちの子も含め、お金に対する意識があまりにも希薄であり、カードゲームのカードのやり取りなども頻繁にあつていたようです。これを機に子どもにはお金の大切さやできない約束はしないこと、誰かをかばう為でも嘘はつかないことなどを厳しく注意しました。お金の捻出に困った自身の経験、友達との関係をこじらせてしまったこと…それに少しは親に心配をかけてしまったことも反省してくれたなら、今回の経験も無駄ではなかったかなと思います。

子どもの成長とともに、今回のようなハラハラする出来事も多くなってきました。今はスマホでのやり取りやYouTubeでの良くない動画など、いろいろな誘惑の中で生活しています。変な情報に左右されず、親の教えや自分の経験を生かせるような大人になれるよう、子育てをもう一度見直していきたいと思っています。

相談支援専門員 井上 真次

## 主任より

### 時が経つのは



梅雨が明けたと思ったらもう蝉が鳴き始めて季節の移ろいの早さを感じる今日この頃。早いもので私の子どもも、もう三歳になりました。

子どもが生まれてからの三年間は長いようで短い、不思議な時間感覚でした。生まれたばかりの頃を思い出すと大昔のようで、その頃いろいろ子育てで悩んでいた事もありましたが、成長の早さで勝手に解決していき、悩んでいた内容すら忘れてしまいました。それくらい子どもの成長は早く、濃厚な時間だったなと感じています。

いつの間にか、言葉も流暢になり、女の子だからか、美容に興味を示し、髪型や洋服、化粧品にも興味深々です。また、早くも私に対する態度も変わってきました。お風呂は「パパと入りたくない」と言い、寝る時は「パパの横は嫌だ」と言います。食事の席もママの横をキープし、完全にママっ子です。保育園に私が迎えに行く時「ママが良かった」と言ってお機嫌が悪くなります。保育園の先生が、私を不憫に思ったのか気遣いの言葉をかけてくださいますが、それもまたみじめなものです。なんでこんなに格差が生まれてしまったのか考えてみたのですが、やはり私は妻の尻に敷かれているので、その扱いを見て学んだのでしょうか。今では二人で顔を見合わせて「パパは靴も並べてない」「パパはダメねーママ」と言っている盛りがついています。先が思いやられますが、これも成長なのでしょう。

しかし、私と子どもが二人っきりの時は態度が一変します。妻が見ていないので私に甘えてくれるのです（本人なりに妻に見られるとマズいらしいのです）。なので妻には申し訳ないのですが、妻が用事でいない時に二人で過ごす時間は私にとって特別感があります。内緒でいつもよりお菓子を多く食べたり、ガチャガチャをしたりして甘やかしてしまいます。

結局のところ、今の自分のポジションを気に入っていますし、家族との時間を大事にしています。

これからどんどん成長して思春期になったりして、また私の扱いがどうなるのか心配です。時が経つのは長いようで短い、自分もいつの間にか三十八歳になりました。これまでの人生、何か一つでも誇れるものがあるか考えてみました。これまでの人生、何かこれから先の人生も長いようで短いのだろうかと思うと、焦りを感じています。私も子どもの成長に負けないように成長して、家族に尊敬されるような父親になりたいと思っています。

主任支援員 平田 雄一

## 施設PR委員会 今月の1枚！



## 短冊に願い事☆三

## 職員より



前回「里だより」に、おじいちゃん支援員として頑張る為にも、禁煙に挑戦すると書かせて頂きましたが、ビックリした事に、半年経った今も禁煙は続いています。煙草を吸う時間が無くなった事によって仕事に使える時間は増え(判断力・行動力は多分低下していると思います)、利用者の方から「身体に良くないよ!」「変な咳をしてるよ!」との指摘も無くなりましたが、頭をよぎる「煙の揺らぎ」は、精神的に相当のストレスを与えます。また、食事が美味しいと感じる様になり、体重が4kg増えた事は「やっぱり〜」と、ショックでした。年齢を重ねれば代謝は低下し、ジョギングや有酸素運動を行っても、昔と違いカロリー消費も減るので簡単にはダイエットする事は出来ません。しかし、何もせずボーッとしておく訳にもいきません。利用者さんに「ウォーキング頑張りましょうね!」と助言している以上は、皆さんから指摘を受けない程度に頑張っていきたいと思います。

(支援員 後藤)



入職して4か月が経ち、早出や遅出、夜勤といった不規則勤務にもようやく慣れてきました。今のところ体調を崩す事もなく元気に働く事が出来ていますが、再びコロナウイルスが流行し始めた為、これからはより一層体調管理をしっかりしていきたいと思えます。また、4月から配属された生活介護班5班では様々な個性を持った利用者さんと関わることができ、担当利用者さんを始め、毎日元気に働いている利用者さんに日々刺激を受けています。利用者さんとのコミュニケーションが上手くいかないことや気持ちを汲み取る事が出来ずに大変に感じてしまう事もありますが、自分から積極的に関わりを持って一緒に暑い夏を乗り切りたいと思います。(支援員 伊藤)



## 事務局より



7月に入った途端、30度を超える猛暑日が続く、体が悲鳴を上げています。毎年夏バテで食欲がなくなり、アイスクリームとそうめんを繰り返し食べる毎日ですが、今年目標は「体調管理の徹底」なので、少しでも食べるよう心掛け、強い体作りをしていきたいと思えます。

ところで、皆さんは夏どのように過ごしていますか? 夏祭りや花火大会、海水浴など楽しい行事が目白押しです。去年は夏祭りと海水浴に行きました。コロナウイルスが蔓延したことでしばらく行けなくなっていたので、久しぶりに楽しむことができました。今年は友人とビアガーデンに行く計画を立てていますが、また少しずつコロナウイルスが流行しているのでどうなるか分かりません。早く収まってくれることを祈るばかりです。利用者さんも外出を楽しみにされています。コロナウイルス感染に気を付けながら、たくさんの夏の思い出を作りたいと思います。(事務員 井手)

## サービス向上委員会より

### ■ 地域交流【主任支援員 小嶋・支援員 村上マ・高尾】

地域交流では、大津北小学校児童の下校時の旗振り運動やゴミ拾い等を行っています。小嶋と村上マは昨年度に引き続き、同委員会を担当しています。昨年度は卒業する6年生に利用者さんと製作した記念品を贈りました。その6年生からお礼の手紙をいただき、手紙には低学年時の運動会や交流会での思い出が書かれていました。コロナ禍で交流出来なかった期間はありましたが、子ども達の記憶にしっかりと残っている事をとても嬉しく思いました。コロナ禍で地域との関係性が希薄となった数年間でしたが、徐々に元に戻していければと思います。また、少し早いですが今年度の秋の里まつりはコロナ禍以前の状態に戻し、地域の方々を始め、たくさんのお客様をお迎えする予定です。つくしの里がこの地にある事を感謝すると共に、地域へ向けた宣伝やつくしの里を知っていただく良い機会にしたいと思います。



## 行事報告

※ 6/21 (金) ~7/20 (土) の実施分について報告いたします

### ★ バイキング昼食会【7月4日(木) つくしの里】

今回は韓国メニューを中心に、ビビンバ、ポッサム、カルグクスなどを辛いものが苦手な利用者さんにも食べやすい味付けで提供しました。初めて登場した具沢山キンパ、海鮮たっぷりチヂミは好評でした。会場は装飾担当の職員が配置図を作成し、各班に協力していただき夏を感じる七夕らしい飾り付けで、K-POP を聞きながら楽しい昼食会になりました。(管理栄養士 奈須)



## 研修報告

※ 6/21（金）～7/20（土）の研修について報告いたします



### ◆ 熊本県障害者相談支援事業連絡協議会研修会【6月21日（金）くまもと新都心プラザ】

令和6年度の報酬改定についての講義・説明がありました。既に4月から変更となっていた為、これまで自分なりに調べて対応していましたが、答え合わせができて良かったです。できれば、もう少し早い段階で（1回目の請求業務をする前までに）、今回のような研修があるとありがたいと感じました。

外部との連携や会議等の実施内容で単位が異なったり、計画作成やモニタリングの月につけられるかどうかが異なっていたり、いろいろと複雑な部分が多くありますので、内容を再確認し、何がどの加算に該当するのかをしっかりと把握し、漏れなく対応できるようにしたいと思います。



（支援係長 井上）

### ◆ ケアテックス福岡【7月3日（水）・4日（木）マリンメッセ福岡】

2日間、計8名の職員で参加させていただきました。広い会場に介護用品、ケアフード、介護テクノロジー等、多くのブースがあり1日では回れない程の出展数でした。最新の介護機器やリハビリ機器、工夫された食品など、どれも興味深く説明を聞いてきました。つくしの里の利用者さんの生活がより良くなるのではと思える物が沢山ありました。機械などは高額ですし、気になったものをまずは試してみたいと思いました。機械や設備を入れれば良いというわけではありませんし、もちろん吟味は必要ですが、少しの困りごとが解決できれば利用者さんの毎日の生活が変わるなどQOL（クオリティオブライフ）の向上に繋がっていきたいと思います。

また同時にセミナーも開催されており、職員がそれぞれ興味のある講義を受講しました。参加出来なかった職員にも情報を共有して皆で支援を向上していけるようにしたいと思います。



（支援員 松若）

### ◆九州地区施設職員研修大会【7月8日（月）～9日（火）パシフィックホテル沖縄】

初日は3つの分科会に分かれ、私はワークライフバランスをテーマとした、「VUCA時代の働き方を語ろう」と題した分科会に参加しました。VUCA時代とは、社会変化が激しく予測が困難な時代の事を指します。具体的には、IT技術の進化や昨今のコロナの流行等が挙げられます。研修はワールドカフェ形式で行われ、お菓子を食べながらリラックスした雰囲気の中で行われました。時代の変化が激しい中における、ワークライフバランスとは何なのか。他メンバーの意見を聞き、様々な視点から物事を考えるきっかけになりました。2日目は、映画「月」の監督である石井裕也氏の講演があり、福祉とは違った視点での福祉に対する見方や社会の問題点等を話され、興味深い内容でした。

余談ですが沖縄の綺麗な海に美味しいお酒…。心身共に癒された2日間となりました（笑）。



（主任支援員 小嶋）



#### ◆ 自立支援協議会サービス部会【7月8日(月) 合志市役所】

菊池圏域の事業所が参加し、施設での課題や菊池圏域全体の課題などを協議することが出来ました。特に人材不足については、事業所全体の共通懸念事項でしたが、その他にも、報酬改定による福祉サービスの問題点や各種加算に対する対応など、それぞれの施設が抱えている課題などを共有しました。自立支援協議会として、利用者さんにとって必要なサービスだけども現状では提供されていないサービスを行政などに掛け合い作っていくとのことでした。福祉サービスを希望する利用者さんが利用しやすい福祉サービスを目指して菊池圏域全体で取り組んでいきたいと思えます。

(支援係長 竹下)



#### ◆ 安全運転管理者講習【7月10日(水) 火の君文化ホール】

改めて時間をかけて説明を聞くことで、運転に関する振り返りと同時に事業所での安全管理等に目を向ける良い機会となりました。横断歩道がある事を事前察知し、減速、一時停止がきちんとできているか。道を曲がる時、歩行者や自転車を巻き込まないように注意しているか。直進の道であっても、歩行者が飛び出してくるようなことを予測しているか。細かく具体的に確認することができました。

私たちは仕事や休日に関係なく、車に乗らない日はないと言って良いほど、車の運転は日常生活の当たり前のひとつではないかと思えます。しかし、気のゆるみによっては人の命を奪ってしまうほど非常に危険なリスクと隣り合わせであることを強く意識し、時には立ち止まって自分の運転を見直す事が大切だと思えました。

(支援課長 今田)

#### ◆ 菊池郡市社会福祉施設職員体育実技研修会【7月13日(土) 合志市総合センター・ヴァーブル】

ミニバレーボール大会に出場しました。コロナ禍を経て5年ぶりの開催で19団体27チームが参加し、つくしの里からは1年目～5年目の職員計13名の2チームで出場しました。勤務後に練習を行い、先輩職員も駆けつけてビシバシご指導頂きました。また、大津町内の施設と練習試合も行い、ミニバレーを通し他施設と交流する機会が持てました。

大会ではお互い声を掛け合い、皆一生懸命に頑張りました。結果はAチーム2敗、Bチーム1勝1敗で惜しくも予選敗退！しかし一勝できた事はとても喜ばしい事で、沢山の協力があったの一勝だと思えます。既に「来年こそは…！」と意気込む職員もあり、来年に向けて準備万端です。今年の結果を上回るよう気合いを入れ頑張っていきます。

(支援員 牛島)





◆ 九州地区地域生活者交流会【7月13日（土）・14日（日）ガーデンテラス佐賀ホテル&リゾート】

初の試みとしてグループホームの2名の利用者さんと一緒に研修に参加させていただきました。九州地区の施設職員・利用者総勢650名が参加し、各県代表の利用者の方が自分が頑張っている事、好きな事、夢について話をされました。地域の中で生活する方、実際に働きに出ている方、車が好きだから免許を取って車を買った方、付き合っている人との結婚を目指している方等、他施設の方の話を聞き、「頑張っているね」、「良い話ね」と共感された事が印象的でした。職員としても利用者さんが実際に地域の中で生活するにはどうすれば良いのかを考えなければいけないと感じました。

福祉サービスを上手に活用する事で地域の中で生活し、障がいの有無に関係なく、共に人生を歩んでいけるような社会づくりが必要なのだと思いました。今回の研修で得た事を活かし、小さな事からコツコツと支援に活かしていきたいと思えます。

（主任支援員 山中）



◆ 熊本県地域リーダー養成研修【7月16日（火） 熊本県庁】

ファシリテーションスキルについて講義を受けてきました。ファシリテーションの基本的理解と4つのスキルについて学んできました。頭では理解しながらも、いざ実践を行うとスキルの活用がいかにか難しいかを実感させられました。様々な話し合いの場、会議の場で、実り大きな時間となるように、物事が前に進むように促す働きかけが必要となってきますので、4つのスキルを意識しながら、多くの場面で活用し、ファシリテーションスキルをできるだけ早く身につけたいと思えます。

（支援係長 竹下）

行事予定

☆ 通帳確認（つくしの里）

期 日：8月9日（金）～30日（金）

内 容：期日については担当職員より電話で連絡させていただきます。



☆ 生活介護⑤班一泊旅行（瀬の本高原ホテル他）

期 日：8月29日（木）～30日（金）

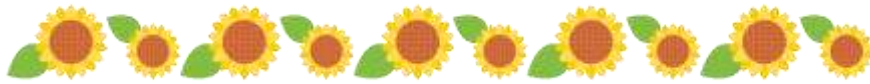
内 容：今、注目の新千円札に描かれ「日本近代医学の父」と呼ばれる細菌学者の出身地「北里柴三郎記念館」に行ってきます！



※コロナウイルス感染状況によっては、予定が変更になる場合がございます。

つくしの里では、朝顔が見頃を迎えています。  
朝日を浴びて涼しげに咲く花を見ると「今日も一日  
頑張ろう！」と言われているようで、元気が出ます。





# ありがとうございました

今月の掲載分は、

令和六年六月二十一日〜

令和六年七月二十日です



## 【寄付・寄贈】

- ・清田 すま子 様
- ・田中 幸一 様
- ・守永 ハルコ 様
- ・柳瀬 けさみ 様
- ・鮑田 一夫 様
- ・於久 八千代 様
- ・長野 齒科 様
- ・ほつこりの里 様
- ・リニエルサプライ 様
- ・後藤 裕司 様
- ・向井 明彦 様
- ・渡辺 昭子 様
- ・梅本 妙子 様
- ・平田 靖人 様
- ・樹村 成美 様
- ・三協化研 様

## 【ボランティア】

- ・村里 和洋 様
- ・トキロロ 様
- ・木本 ふじ子 様
- ・丸山 典子 様
- ・カモメ 様



誠にありがとうございました。  
利用者さんの為に使わせて頂きます。



## 御礼

つくしの里保護者会様よりご厚意を頂戴し、施設北側土手の雑木伐採が行なわれました。

伐採したことにより、旧棟女性居室側に日が当たるようになり明るくなりました。本当にありがとうございました。



## 編集後記

連日の猛暑と共にコロナウイルスの感染が流行しています。今回流行している株は感染力が強いみたいです。つくしの里でも七月中旬から感染が拡大し、ご家族の方や関係者の方々にも大変ご心配をおかけしております。一日でも早く収束し、何気ない日常に戻ることを祈るばかりです。

皆様もくれぐれもご自愛ください。

※お詫びとおことわり

里だより担当では、毎月十分注意して記事の記載、確認をしておりますが、誤字脱字等がございましたら何卒ご容赦していただきたく存じます。

